

第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」  
ソフトボール競技実施要領

## 1 競技規則

令和7年（2025年）度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

## 2 チーム

- (1) チームの構成は監督1名、コーチ2名以内および選手15名以内（男女は問わず男女混合のチーム構成が可）とする。
- (2) 監督またはコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督、コーチを含め15名以内とする。

## 3 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に交流戦を実施する。
- (2) すべての試合は5回までとし、1回戦および準決勝は、試合開始後80分を経過した後は、新しい回に入らない。
- (3) 同点の場合はタイブレークにより試合を延長して行う。ただし、延長は2回を限度とし、延長開始後15分を経過した後は新しい回には入らない。それでも同点の場合は、最終出場選手9名の抽選によって勝敗を決定する。（決勝戦は抽選ではなく、タイブレークを継続し勝敗を決定する。）
- (4) 抽選は主管競技団体が行う方法に沿うこととし、監督会議にて実施方法を確認する。
- (5) 3回終了以降10点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。（決勝戦、3位決定戦を含む）
- (6) ファーストピッチにより行う。
- (7) 競技場のフェア地域および塁間距離と投球距離は、成年女子の規格に準ずる。
- (8) パスボール、振り逃げ、スクイズバンドおよび盗塁は適用しない。
- (9) ピッチャーが投球したボールがホームベースを通過した時点でボールデッドとし、キャッチャーからの牽制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
- (10) ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は、審判団から厳重に注意し、再度繰り返す場合は審判団の判断で遅延行為によりランナーをアウトにする。
- (11) 指名選手（DP）および再出場（リエントリー）を採用する。
- (12) 競技時間内で、選手の応急手当が必要な場合や強風雨・雷雨時、および選手の健康状態を維持するために給水タイムを実施した場合は、時間計測は行わない。

## 4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチおよび選手は同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは背中と胸下につけねばならない。監督は30番、コーチは31番、（二人目は32番）、主将は10番とし、他の選手は1番から99番の番号とする。

また、ユニフォームの左袖（左肩から10cm程度）に都道府県・指定都市名を表示すること。

- (3) 打者・打者走者・走者、次打者および1・3塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手はスロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクターおよび膝あて付きレガースを着用する。
- (4) 金属製スパイクの使用は禁止する。

## 5 試合球

試合球は公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号とし、主催者が用意する。

## 6 組合せ

組合せは令和7年（2025年）7月～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

## 7 打順表等

- (1) 打順表は試合開始30分前または前試合2回終了までに5部作成し、競技会場の競技本部へ提出する。ただし、第1試合は、開始式終了後に速やかに提出する。
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いの下、コインのトスによって決定する。コインの表裏の選択は、先着の主将に優先権を与え、もし両チーム同時の場合は球審の任意によりいずれかのチームを優先させる。

## 8 表彰式

表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

## 9 その他

- (1) 監督会議は令和7年10月24日（金）に行う。なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) 監督会議ではあらかじめ主催者と協議した事項について、大会申し合わせ事項を設けることができる。
- (3) ベンチは、組合せ番号が若いチームを一塁側とする。
- (4) ベンチ内へは監督、コーチ、選手以外は入ることができない。ただし、チームスタッフとは別にトレーナーを帯同しているチームは、1名ベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申し込み時に登録したものに限る。このトレーナーは実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (5) 競技場内へは主催者の許可を受けたもの以外は、立ち入ることができない。
- (6) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (7) 練習球は各チームが用意する。
- (8) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合等の取扱いは、主催者において別途決定する。